

事業所名：第2こらぼねっと京都

放課後等デイサービス支援プログラム

作成日 令和6年 11月 1日

法人（事業所）理念		当事業所は障がいのある人々が一人の人間としての尊厳を守られ、その人らしく自立する機会を保障するための事業を行います。特に障がいのある本人の自己選択、自己決定を尊重し、「生涯にわたる発達」（人間は生まれてから死ぬまで成長し続ける）を支援する活動を行い、関わる人すべてが共に育ち合う姿勢を持つことを理念とします。					
支援方針		日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、その他必要な療育、支援を行います。どの活動においても、「無理やりさせない。したくなるまで待つ」姿勢で支援します。その人の成長の過程を家族と一緒に考え、見守ります。その人が自ら選んで行動できるような『場』や『機会』を提供します。困った時や苦しい時に、独りではなく一緒に考えることができる支援者がいることを知り、誰もが安心して助けを求められる事業所を目指します。					
営業時間		16 時	30 分	20 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	遊びを終えて設定活動に移行する時間を自分達で決めます。時間を意識して活動することを繰り返し、少し先の見通しを持つ練習をします。自分の荷物の管理や課題で使う物の管理をする練習をします。活動をする時に、自分の使う物をどう置けばやりやすいかなども含め、自分の荷物を管理していけるための援助をします。座っている時の姿勢や身だしなみについてのアドバイスをします。自分が人にどう見られているかを意識するよう支援します。 基本は、保護者に送迎してもらいますが、小学校中学年以上になりひとりで通う人もいて、ひとりで通うための支援（期間限定）をします。ひとりで通う中高生は、約束の時間を守る練習、到着後・帰宅後の電話連絡をする習慣を身に付ける練習をします。					
	運動・感覚	設定活動（学習、制作、クッキング）の中で、正しい道具の持ち方を学び、同じ活動を繰り返し行なうことで、いろいろな道具をひとりで扱えるようになる援助をします。制作やクッキングの活動の中で、様々な素材に触れることで、いろいろな感触に慣れる体験を積み重ねます。作業を行う際の姿勢の保持や作業をしやすい身体の動かし方を身に付けていけるよう援助します。					
	認知・行動	学習課題、制作活動、クッキング活動などを行い、自ら課題に取り組む力、手本をしっかりと見る力、模倣する力、理解して取り組む力を育てます。小さい頃から「今、何をする時なのか」「今、誰を見たらいいのか」「今、誰の言うことを聞いたらいいのか」などを知るための援助をします。 学習課題では、指導員と相談しながら自分に合った課題を選ぶ力を養います。答え合わせを自分でしてもらうことで、自分で自分の間違いに気づき、自分の間違いを認められることで自分を振り返る力、修正する力、行動調整をする力を養います。 「できた」ことを積み上げることで達成感を得て、やる気や意欲に繋げ、やり切る力や集中力を身につける支援をします。自分から主体的に学び、活動する力を育てます。失敗しても、失敗から学ぶ「トライ＆エラー」を経験することで成長に繋げていきます。					
	言語 コミュニケーション	低学年児には、どの状況でどんな言葉を使うのかを代弁します。話せない人でもコミュニケーションは可能なので、その人なりのコミュニケーションを通して、相手を受け入れる力、関わってもらってうれしい心を育てます。しぐさや発声で気持ちを伝えた時に通じたという経験を積み、積極的に相手に気持ちを伝える援助をします。話せるようになった人には、自分の言いたいことだけでなく、相手が言うことを聞いて答える、コミュニケーションの力が育つ援助をします。年齢が上がるにつれて、相手と気持ちよくやり取りするためのコミュニケーションの力が身に付くよう指導員が代弁をしたり言い方のモデルを示します。年齢が高い子ども達は、悩み事や困り事を自分から指導員に伝えて相談する力を養います。 小学生以上の中で、個別の構音訓練を行うこともあります。					
人間関係 社会性		集団に馴染みにくい場合、どの部分なら参加できるのかを探り、その人なりの参加の仕方を大切にします。遊びの中や設定活動の中で、困っている時に助けを求める力、「一緒にしたい」「手伝ってほしい」「やりたくない」「もっとしたい」などの気持ちを伝える力を養います。自分が言ったことで相手がどう思っているかを知ったり、相手と意見が違う時にどう考えていけばいいのかを一緒に考えサポートします。学習課題は指導員と相談して決めます。人と相談する力、交渉する力を養います。 その人が将来社会に出た時に自立するために身に付けておいた方が良い力を考え、小さい頃よりその目標に向けて今つけておくべき力に着目し、支援します。 中高生達には、自分の悩みを指導員に相談することで、自分で物事を対処しようとする力がつくよう支援します。また、仲間同士で関わる場を提供することで、人間関係を築く力や社会性を身に付ける支援をします。					

家族支援	保護者からの悩み事の相談に乗り、必要なアドバイスをします。困っている所を見方を変えて良い所として考えられるよう、捉え方のアドバイスもします。また、不安に思っていることを相談しやすい環境設定に心掛けます。 年に2回、面談を行い、相談に乗り、療育での子どもの成長を伝えています。 保護者からの希望があればその都度面談の時間を作っています。	移行支援	進学、就職に向けて本人、保護者と面談します。必要に応じて、学校や就職先とも連携します。 自分のことを知り、進路を決めていく援助を行います。
地域支援・地域連携	必要に応じて地域の小学校、特別支援学校と連携します。 月に1回、誰でも参加できる音楽活動の定例会を開催します。 地域の行事に参加し、地域に根付いた事業所を目指します。	職員の質の向上	職員の学びを深めるために社外研修に参加するよう勧奨します。 職員が不安なく支援できるように、毎日のチームミーティングで情報共有をします。 年に2、3回の社内研修で、それぞれが社外研修で学んできたことを伝え合ったり、日頃悩んでいる内容について検討し、必要に応じて講師を呼んで研修を行ないます。 職員交流の場を持ち、職員間の交流を深めるために、年に1度のレクレーションを行ないます。
主な行事等	お餅つき・避難訓練		